



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 山加電業株式会社
 コード番号 1789 URL <http://www.yamaka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 三森 茂
 (氏名) 中澤 文雄
 配当支払開始予定日

TEL 03(5957)7661
 平成27年6月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	1,675	△41.2	△128	—	△58	—	△78	—
26年9月期第2四半期	2,847	54.1	178	—	204	—	169	—

(注)包括利益 27年9月期第2四半期 △78百万円 (—%) 26年9月期第2四半期 169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	△12.26	—
26年9月期第2四半期	26.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第2四半期	3,108	2,009	64.6	315.51
26年9月期	2,788	2,100	75.3	329.77

(参考)自己資本 27年9月期第2四半期 2,009百万円 26年9月期 2,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年9月期	—	2.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,675	12.1	134	123.4	153	7.4	117	△15.0	18.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期2Q	6,375,284 株	26年9月期	6,375,284 株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	6,201 株	26年9月期	6,201 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期2Q	6,369,083 株	26年9月期2Q	6,369,083 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
（セグメント情報等）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済対策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調で推移しましたが、消費税増税に加え円安の影響による物価上昇により個人消費の不振が続く、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共工事は底堅く推移し、民間工事でも企業の設備投資が持ち直し傾向となりましたが、労務単価の上昇や資材価格の高騰による工事原価の高まりや労働者不足など、引き続き厳しい経営環境が続いています。

このような状況の中、当社グループは工事量と利益確保の経営方針を継続し、新規顧客開拓を積極的に推進する一方、工事採算の改善や経費の削減に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は、21億8千4百万円（前年同四半期比153.0%増）、売上高は16億7千5百万円（前年同四半期比41.2%減）となりました。

利益につきましては、売上高の減少や原価率の上昇などの影響により営業損失は1億2千8百万円（前年同四半期は1億7千8百万円の営業利益）、経常損失は5千8百万円（前年同四半期は2億4百万円の経常利益）、四半期純損失は7千8百万円（前年同四半期は1億6千9百万円の四半期純利益）となりました。

当社は、関西電力株式会社から受注した架空送電線工事に関しまして、公正取引委員会から受けた排除措置命令が確定したことに伴い、国土交通省より民間の電気工事業の営業に関しまして、平成26年6月11日から営業停止命令処分を受けました。

当社といたしましては、このたびの処分を厳粛に受け止め、再発防止に向けて法令遵守の徹底を一層図り、信頼の回復に努めております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電気工事業)

全体的に受注高は堅調に推移したものの、電力事業案件の着手時期のずれ込みと、内線事業の一部案件の不採算から売上高、利益額はともに伸び悩み、当第2四半期連結累計期間の受注高は21億8千4百万円（前年同四半期比153.0%増）、売上高は12億8千6百万円（前年同四半期比45.9%減）、セグメント損失（営業損失）は1億3千5百万円（前年同四半期は1億5千5百万円のセグメント利益）となりました。

(建物管理・清掃業)

受注競争が激しい環境下であり、大規模修繕工事の受注高が減少したこと、資材価格の高騰、建築費の上昇及び人件費の増加等が影響し、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億8千8百万円（前年同四半期比16.8%減）、セグメント利益（営業利益）は7百万円（前年同四半期比65.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億2千万円増加し、31億8百万円となっております。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億1千1百万円増加し、10億9千9百万円となっております。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ9千万円減少し、20億9百万円となっております。

資産の増加の主な要因は、現金預金8千4百万円及び未成工事支出金9千9百万円の減少もありましたが、受取手形・完成工事未収入金等4億8千4百万円の増加によるものであります。

負債の増加の主な要因は、未成工事受入金3千8百万円の減少、賞与引当金1千4百万円の減少及び工事損失引当金4千万円の減少もありましたが、短期借入金4億円の増加及び工事未払金1億6千万円の増加によるものであります。

純資産の減少の要因は、利益剰余金9千万円の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ8千4百万円減少し、8億5千7百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と増加・減少の要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は、4億4千9百万円（前年同四半期は5千8百万円の増加）となりました。この主な要因は、仕入債務の増加1億6千8百万円及び未成工事支出金の減少9千9百万円もありましたが、税金等調整前四半期純損失5千8百万円、工事損失引当金の減少4千万円、持分法による投資利益6千9百万円及び売上債権の増加4億9千1百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は1千9百万円（前年同四半期は2千9百万円の減少）となりました。この主な要因は、定期預金の払戻による収入1億5千万円もありましたが、有形固定資産の取得による支出1千8百万円及び定期預金の預入による支出1億5千万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、3億8千4百万円（前年同四半期は1億8千5百万円の増加）となりました。この主な要因は、短期借入金の返済による支出1億円もありましたが、短期借入による収入5億円があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえた結果、「平成26年9月期決算短信」（平成26年11月11日付）で公表した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,091,601	1,007,183
受取手形・完成工事未収入金等	437,148	921,955
未成工事支出金	125,939	26,043
繰延税金資産	46,270	36,670
その他	20,675	25,578
貸倒引当金	△5,357	△6,112
流動資産合計	1,716,278	2,011,319
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	440,392	442,065
機械・運搬具	347,198	350,731
工具器具・備品	276,962	282,675
土地	359,351	359,351
減価償却累計額及び減損損失累計額	△813,100	△848,746
有形固定資産合計	610,804	586,076
無形固定資産		
のれん	246,056	228,064
その他	10,094	9,264
無形固定資産合計	256,151	237,328
投資その他の資産		
投資有価証券	181,246	251,127
長期貸付金	335,000	335,000
繰延税金資産	620	620
その他	37,501	43,940
貸倒引当金	△349,150	△356,503
投資その他の資産合計	205,217	274,183
固定資産合計	1,072,173	1,097,589
資産合計	2,788,451	3,108,909

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	165,892	326,735
短期借入金	100,000	500,000
未払法人税等	17,866	10,532
未成工事受入金	47,678	9,014
賞与引当金	29,705	15,464
工事損失引当金	41,505	1,455
完成工事補償引当金	1,080	520
その他	154,350	106,069
流動負債合計	558,079	969,791
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	8,327	8,327
退職給付に係る負債	116,964	118,567
その他	4,727	2,701
固定負債合計	130,019	129,595
負債合計	688,098	1,099,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	821,016	821,016
利益剰余金	466,583	375,752
自己株式	△1,900	△1,900
株主資本合計	2,275,368	2,184,537
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△175,015	△175,015
その他の包括利益累計額合計	△175,015	△175,015
純資産合計	2,100,353	2,009,522
負債純資産合計	2,788,451	3,108,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高		
完成工事高	2,380,378	1,286,992
不動産管理売上高	466,756	388,247
売上高合計	2,847,135	1,675,240
売上原価		
完成工事原価	1,969,451	1,173,149
不動産管理売上原価	328,467	254,922
売上原価合計	2,297,919	1,428,072
売上総利益		
完成工事総利益	410,927	113,842
不動産管理売上総利益	138,289	133,324
売上総利益合計	549,216	247,167
販売費及び一般管理費	370,295	375,243
営業利益又は営業損失(△)	178,921	△128,075
営業外収益		
受取利息	72	127
貸倒引当金戻入額	3,000	—
持分法による投資利益	21,422	69,880
その他	2,457	1,681
営業外収益合計	26,953	71,690
営業外費用		
支払利息	867	2,455
手形売却損	—	5
支払保証料	—	88
その他	381	24
営業外費用合計	1,249	2,573
経常利益又は経常損失(△)	204,625	△58,959
特別損失		
電話加入権評価損	46	—
特別損失合計	46	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	204,578	△58,959
法人税、住民税及び事業税	35,445	9,533
法人税等調整額	—	9,600
法人税等合計	35,445	19,133
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	169,132	△78,092
四半期純利益又は四半期純損失(△)	169,132	△78,092

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	169,132	△78,092
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	169,132	△78,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,132	△78,092
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年10月1日 至平成26年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年10月1日 至平成27年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失（△）	204,578	△58,959
減価償却費	37,839	36,718
のれん償却額	15,103	17,992
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△712	8,107
賞与引当金の増減額（△は減少）	8,315	△14,241
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△23,748	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	1,602
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△11,043	△40,050
その他の引当金の増減額（△は減少）	180	△560
受取利息及び受取配当金	△72	△127
支払利息	867	2,455
持分法による投資損益（△は益）	△21,422	△69,880
電話加入権評価損	46	—
売上債権の増減額（△は増加）	△424,045	△491,617
未成工事支出金の増減額（△は増加）	178,764	99,896
仕入債務の増減額（△は減少）	147,604	168,971
未払消費税等の増減額（△は減少）	118,736	△40,157
未成工事受入金の増減額（△は減少）	△116,142	△38,663
その他	△36,012	△12,079
小計	78,836	△430,592
利息及び配当金の受取額	85	140
利息の支払額	△1,631	△3,714
法人税等の支払額	△19,302	△15,536
法人税等の還付額	595	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,583	△449,702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,390	△18,874
無形固定資産の取得による支出	—	△150,057
定期預金の預入による支出	△150,024	150,032
定期預金の払戻による収入	150,000	△416
のれんの取得による支出	△35,000	—
貸付金の回収による収入	6,099	—
その他	957	△362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,357	△19,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
配当金の支払額	△12,561	△13,036
リース債務の返済による支出	△2,026	△2,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	185,412	384,937
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	214,638	△84,442
現金及び現金同等物の期首残高	702,751	941,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	917,390	857,124

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,380,378	466,756	2,847,135	—	2,847,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60	400	460	△460	—
計	2,380,438	467,156	2,847,595	△460	2,847,135
セグメント利益	155,566	21,650	177,216	1,704	178,921

(注)1 売上高の調整額△460千円及びセグメント利益の調整額1,704千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建物管理・清掃業」セグメントにおいて、管理業務受託事業を譲り受けております。これによる当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、35,000千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,286,992	388,247	1,675,240	—	1,675,240
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	332	332	△332	—
計	1,286,992	388,579	1,675,572	△332	1,675,240
セグメント利益又は損失(△)	△135,551	7,467	△128,084	8	△128,075

(注) 1 売上高の調整額△332千円及びセグメント利益又は損失の調整額8千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。